

令和4年7月3日(日)樹木診断会 報告

場所:磯辺西住宅

住所:千葉市美浜区磯辺6-6

5階建て13棟 築43年(築年月:1979年3月) 340戸



樹木診断の希望内容

- 令和5年度長期修繕計画策定します。
その中の緑化について長期的観点からアドバイスを頂きたい。
- 令和4年度に園芸予備費として実質100万円を計上しています。
芝刈りをお願いしている業者さんと契約外に「桜」「松」と「一部の垣根」があります。
安全の視点から「この松は切り倒した方が良い」「この枝は垂れ下がっているのでカットした方が良い」等、相談にのって頂きたい。
また一部住民から「ここに木を植えて下さい」との要望もありますので、アドバイスいただきたい。

ご参考:過去の樹木診断会情報「ふるさとのみどり」の掲載記録

[第36号\(PDF:3.849KB\)\(2016\)平成28年3月発行](#)[第30号\(PDF:983KB\)\(2010\)平成22年3月発行](#)[第28号\(PDF:711KB\)\(2008\)平成20年3月発行](#)

樹木診断の流れ:

9:00に集会所に集まっておいただき、理事長や当協議会および樹木医大矢先生の挨拶後に、実際に敷地内をまわり、都度アドバイスをいただき10:50に終了しました。
参加者は、居住者12名の他、近隣より4名と役員3名と先生で計20名となりました。

樹木診断会の様子



終了後の集合写真



具体的なアドバイス等

桜： 梢端(しょうたん)枯れが散見されます。梢端を枯らすのは桜自身が生き残る為のリストラ活動とのこと。不要な枯れ枝、立ち枝、交差枝を剪定して整え、切り口には殺菌塗布剤を塗っておくようアドバイスがあった。



↑ 梢端枯れ
立ち枝など →



千葉県さくらの会発行の冊子 ↓ ご参照
[「さくらの植樹と管理」\(PDF:2.888KB\)](#)

松： 海風に強い為、海に近い所に植えられています。不要枝を落とし、高さを抑える芯止め処理がよい。透かし剪定(切り戻し、切り返し)剪定をして不要な枝を切るとすっきりするとのこと。庭園風の仕立ては不要とのこと。

針葉樹は芽(葉)のある枝の位置で切断します。
↓ ここから枝が伸びます。



↑
こちらは先端の方が枯れます。

幹の

空洞化： 幹の内部に腐りが入ってしまい空洞ができています。表皮が残っており倒木の心配はないとのこと。幹や枝が傷つくと自らその傷を治そうと樹皮を成長させ塞ごうと自然治癒力で自ら防御層が作られるとのこと。防御層ができると腐朽に対して極めて耐性が高くなり、防御層の発達した開口部の強度は強いとのこと。



↑
防御層の樹皮の巻き込みが羊の角に似ているので「ラムズホーン」と呼ばれる。

ご参考→ [樹木の形の不思議](#) - 東京農業大学

その他:

地衣類:

- ← 菌類と藻類とが共生して一体となっている植物で、藻類が光合成をする。梅の樹などには影響ないが、桜には樹の呼吸が妨げられるので影響がある。
ご参考: [ウメノキゴケ 地衣類の不思議](#)



← アジサイの剪定:

花の着いている枝は花から3~4節目の芽が出ている枝の1.5cm上で切ると良い。
7月15日までの剪定を推奨されました。



生垣の剪定: →

一律に刈込すると徒長枝が飛び出てくるので、徒長枝は樹冠内で切ると良い。

← ニワウルシの駆除:

実生の「ニワウルシ」が散見されます。小さいうちに引き抜くと良い。

ご参考→ [庭木図鑑より\(別名:シンジュ\)](#)



↑ アブラムシ

ご参考→ [アブラムシの発生原因と生態とは?](#)



← サンゴジュ

サンゴジュハムシの被害を受けているところがあります。
対応等について、
[「八千代台パークハイツ」樹木診断会報告](#)の3頁目ご参照。

植木の購入について

一部住民から要望のある植木の購入は、業者と相談し割安な価格の樹木を探してもらうのが良いとのこと。



↑

藤の花の咲きの悪い原因などについて話があり、
[「藤の花を咲かせる取り組みについて」](#)の紹介もあった。



↑

元芝生の庭は、チガヤやハルジオンが生えている。
年4回の草刈りが実施されるとのこと。